

## 当館における具体的感染防止対策

### (1) 留意すべき基本原則と共通事項

宿泊人数を制限し、従業員と宿泊客及び客同士の接触をできるだけ避け、対人距離(2メートル目安)を確保し必要な場所には透明ビニールカーテン等で飛沫感染を防止する

- ・ 他人と共用する物品や箇所を工夫して最低限にする。また定期的に消毒する。
- ・ お客様・従業員がいつでも使えるようにアルコール液を施設内に設置
- ・ 従業員の健康チェック、衛生管理を徹底強化する

### (2) 入館時

- ・ 玄関及びロビー内に手指の消毒設備の設置
- ・ お客様・出入り業者のご到着時、非接触型体温計による検温とご本人確認
- ・ 消毒済み個人用スリッパまたは使い捨てスリッパの提供
- ・ 発熱・咳・咽頭痛・倦怠感等の症状の方は軽度であっても申し出るよう呼びかけ、同意を得た上で保健所(帰国者・接触者相談センター)へ連絡し、その指示に従う。
- ・ 宿泊カードは客室にてご記入いただき、個人情報の取り扱いに十分に注意しながら宿泊者名簿を適正に管理する。

### (3) エレベーター内

- ・ 定期的換気と押しボタン、手すり等の頻繁な清拭消毒
- ・ 乗車人数の制限 定員9名⇒定員5名

### (4) 客室・廊下・共同スペース

- ・ 暗証番号(スマートキー)での入室
- ・ 定期的換気と清掃
- ・ 通常の清掃の後、ドアノブ、照明スイッチ、カーテン、電話機等を清拭消毒
- ・ ごみはビニール袋で密閉して処理

### (5) 大浴場

- ・ 入場人数の制限
- ・ 浴室内の換気強化
- ・ 備品等の清拭消毒

(6) 料理提供

- ・ 衛生管理の徹底強化
- ・ 入場人数を制限し座席の間隔に留意する
- ・ 大鍋料理は個人用鍋に変更
- ・ ビュッフェ形式の場合は従業員が取り分けるか、お客様専用 tong・手袋・マスクを使用
- ・ 下膳と同時に料理提供をしない
- ・ 下膳作業後の手洗い、手指消毒の徹底
- ・ 食事後のテーブル等を消毒

(7) チェックアウト

- ・ オンライン決済・カード決済・事前振込みによる非対面チェックアウト手続き

(8) お客様の感染疑いの際の対応

- ・ 万一、感染の疑われるお客様がいる場合、客室内で待機し、マスク着用をお願いし、外にでないようお願いする(同行者も同様)
- ・ 事前に他のお客様と区別して待機する部屋を決めておく
- ・ 対応するスタッフを限定し、対応時はマスク等を着用する
- ・ 保健所に連絡し、お客様の状況や症状を伝え、保健所からの指示に従う
- ・ 当日の宿泊者名簿を確認し、保健所への提出に備える
- ・ 館内の他のお客様への情報提供は保健所の指示に従う

感染防止用備品一覧

B1F	大浴場	手指消毒液・飛沫感染パーテーション
	スキー乾燥室	オゾン発生器
1F	玄関・ロビー・フロント	手指消毒液・非接触型体温計・飛沫感染パーテーション 次亜塩素酸空間洗浄機・空気清浄機
2F	食堂	手指消毒液・飛沫感染パーテーション ゲスト用使い捨て手袋とマスク
3F~5F	客室	手指消毒液・飛沫感染パーテーション・スマートキー
6F	多目的ホール	オゾン発生器
隣接	レンタルショップ	オゾン発生器
隣接	送迎雪上車	飛沫感染パーテーション・オゾン発生器
隣接	レストラン山の実	非接触型体温計・飛沫感染パーテーション